取扱説明書

FlexScan[®] L795

カラー液晶モニター

重要

ご使用前には必ず取扱説明書をよくお読みになり、 正しくお使いください。 この取扱説明書は大切に保管してください。



絵表示について

本書では以下のような絵表示を使用しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。

注意 1

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性がある内容、および物的損害のみ発生 する可能性がある内容を示しています。

\square	注意(警告を含む)を促すものです。たとえば 🕂 は「感電注意」を示しています。
\bigcirc	禁止の行為を示すものです。たとえば(いは「分解禁止」を示しています。
	行為を強制したり指示するものです。たとえば しは「アース線を接続すること」を示
	しています。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラス B 情報技術装置で す。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信 機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをして ください。

|本装置は、社団法人 電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの漏洩電流に関するガイドライン (PC-11-1988)に適合しております。

本装置は、平成6年10月3日付け経済産業省エネルギー庁公益事業部長通達、6資公部 第378号、家 電・汎用品高調波抑制対策ガイドラインに適合しております。

energy

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースター プログラムの基準に適合していると判断します。

本製品はエコマーク認定基準に定められた「機器のリサイクルに適した設計」に基づいて設計されていま す。

- Copyright© 2003 株式会社ナナオ All rights reserved. 1. 本書の著作権は株式会社ナナオに帰属します。本書の一部あるいは全部を株式会社ナナオからの事前の許諾を得るこ となく転載することは固くお断りします。 2. 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。 3. 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連
- 絡ください。
- 4. 本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、上記にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。 5. 乱丁本、落丁本の場合はお取り替えいたします。販売店までご連絡ください。

Apple、Macintosh は Apple Computer Inc.の登録商標です。 IBM、VGA は International Business Machines Corporation の登録商標です。 VESA、DPMS は Video Electronics Standards Association の商標です Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。 PowerManager、たSound は株式会社ナナオの商標です。 EIZO、FlexScan、ScreenManager は株式会社ナナオの登録商標です。 その他の各会社名、各製品名は、各社の商標または登録商標です。

もくじ

⚠使用	上の注意	4
第]章	はじめに 1-1. 特長 1-2. 梱包品の確認 1-3. 各部の名称	9 9 9 10
第2章	接続手順 2-1. 接続の前に 2-2. 接続手順 2-3. 2 台のコンピュータをつなぐ	12 12 13 15
第3章	ScreenManager 3-1. 操作方法 3-2. 機能一覧 3-3. 特殊機能	17 17 18 19
第4章	画面調整/設定 4-1. 画面調整 4-2. 画像が低解像度の場合 4-3. カラー調整 4-4. 節電設定について	21 21 25 27 29
第5章	ActiveShot 機能 5-1. 操作方法 5-2. 子画面の設定 5-3. コントロールボタンを使った操作方法	31 31 32 34
第6章	ActiveRotation 機能	
第7章	おすすめ機能	
第8章	USB(Universal Serial Bus)の活用	
第9章	アーム取付方法	40
第10章	፤ 故障かなと思ったら	
第11章	さ お手入れ	46
第12章	直 仕様	
第13章	ī 用語集	
第14章	ī 付録	
アフター	-サービス	

⚠使用上の注意

重要

●本製品は、日本国内専用品です。日本国外での使用に関して、当社は一切責任を負いかねます。

This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.

 ●ご使用前には、「使用上の注意」および本体の「警告表示」をよく読み、必ずお守り ください。

【警告表示位置】



、警告

万一、異常現象(煙、異音、においなど)が発生した場合は、すぐに電源ス イッチを切り、電源プラグを抜いて販売店またはエイゾーサポートに連絡す る



そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。

裏ぶたを開けない、製品を改造しない

本製品内部には、高電圧や高温になる部分があり、感電、やけどの原因となります。また、改造は火災、感電の原因となります。



修理は販売店またはエイゾーサポートに依頼する

お客様による修理は火災や感電、故障の原因となりますので、絶対におやめ ください。



▲ 警告

異物を入れない、液体を置かない

本製品内部に金属、燃えやすい物や液体が入ると、火災や感電、故障の原因となります。

万一、本製品内部に液体をこぼしたり、異物を落とした場合には、すぐに電 源プラグを抜き、販売店またはエイゾーサポートにご連絡ください。

丈夫で安定した場所に置く

不安定な場所に置くと、落下することがあり、けがの原因となります。 万一、落とした場合は電源プラグを抜いて、販売店またはエイゾーサポート にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

次のような場所には置かない

火災や感電、故障の原因となります。

- 屋外。車両・船舶などへの搭載。
- 湿気やほこりの多い場所。浴室、水場など。
- 油煙や湯気が直接当たる場所や熱器具、加湿器の近く。

プラスチック袋は子供の手の届かない場所に保管する

包装用のプラスチック袋をかぶったりすると窒息の原因となります。

付属の電源コードを 100VAC 電源に接続して使用する

付属の電源コードは日本国内 100VAC 専用品です。 誤った接続をすると火災や感電の原因となります。

電源コードを抜くときは、プラグ部分を持つ

コード部分を引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となります。

電源コンセントが二芯の場合、付属の二芯アダプタを使用し、安全(感電防 止)および電磁界輻射低減のため、アースリード(緑)を必ず接地する なお、アースリードは電源プラグをつなぐ前に接続し、電源プラグを抜いて から外してください。順序を守らないと感電の原因となります。 二芯アダプタのアースリード、および三芯プラグのアースが、コンセントの 他の電極に接触しないようにしてください。









⚠ 警告

次のような誤った電源接続をしない

誤った接続は火災、感電、故障の原因となります。

- 取扱説明書で指定された電源電圧以外への接続。
- タコ足配線。

電源コードを傷つけない

電源コードに重いものをのせる、引っ張る、束ねて結ぶなどをしないでくだ さい。電源コードが破損(芯線の露出、断線など)し、火災や感電の原因と なります。

雷が鳴り出したら、電源プラグやコードには触れない

感電の原因となります。

アーム(または他のスタンド)を使用する場合は、それらの取扱説明書の指 示にしたがい、本機に付属のネジを使用し、確実に設置する

確実に設置されていないと、外れたり、倒れたりしてけがや故障の原因とな ります。万一、落とした場合は電源プラグを抜いて、販売店またはエイゾー サポートにご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となりま す。また、取り外したスタンドを再度取り付ける場合には必ず元のネジを使 用し、確実に固定してください。

液晶パネルが破損した場合、破損部分に直接素手で触れない

もし触れてしまった場合には、手をよく洗ってください。 万一、漏れ出た液晶が、誤って口や目に入った場合には、すぐに口や目をよ く洗い、医師の診断を受けてください。そのまま放置した場合、中毒を起こ す恐れがあります。

ごみ廃棄場で処分されるごみの中に本製品を捨てない

本製品に使用の蛍光管(バックライト)の中には水銀が含まれているため、 廃棄は地方自治体の規則に従ってください。









⚠ 注意

運搬のときは、接続コードやオプション品を外す

コードを引っ掛けたり、移動中にオプション品が外れたりして、けがの原因 となります。

本製品を移動させるときは、右図のように画面の下部を両手で持つ

落としたりするとけがや故障の原因となります。

通風孔をふさがない

- 通風孔の上や周囲にものを置かない。
- 風通しの悪い、狭いところに置かない。
- 横倒しや逆さにして使わない。

通風孔をふさぐと、内部が高温になり、火災や感電、故障の原因となります。

濡れた手で電源プラグに触れない

感電の原因となります。

電源プラグの周囲にものを置かない

火災や感電防止のため、異常が起きた時すぐ電源プラグを抜けるようにして おいてください。

電源プラグ周辺は定期的に掃除する

ほこり、水、油などが付着すると火災の原因となります。

クリーニングの際は電源プラグを抜く

プラグを差したままでおこなうと、感電の原因となります。

長時間使用しない場合には、安全および省エネルギーのため、本体の電源ス イッチを切った後、電源プラグも抜く















液晶パネルについて

経年使用による輝度変化を抑え、安定した輝度を保つためには、ブライトネ スを下げて使用されることをおすすめします。

画面上に欠点、発光している少数のドットが見られることがありますが、液 晶パネルの特性によるもので、製品本体の欠陥ではありません。

液晶パネルに使用される蛍光管(バックライト)には寿命があります。画面 が暗くなったり、ちらついたり、点灯しなくなったときには、販売店または エイゾーサポートにお問い合わせください。

液晶パネル面やパネルの外枠は強く押さないでください。強く押すと、干渉 縞が発生するなど表示異常を起こすことがありますので取り扱いにご注意く ださい。また、液晶パネル面に圧力を加えたままにしておきますと、液晶の 劣化や、パネルの破損などにつながる恐れがあります。(液晶パネルを押し たあとが残った場合、画面全体に白い画像を表示すると解消されることがあ ります。)



液晶パネルを固いものや先の尖ったもの(ペン先、ピンセット)などで押し たり、こすったりしないようにしてください。傷がつく恐れがあります。な お、ティッシュペーパーなどで強くこすっても傷が入りますのでご注意くだ さい。

第1章 はじめに

このたびは当社カラー液晶モニターをお買い求めいただき、誠にありがとうございま す。

1-1. 特長

- 2 系統信号入力搭載
- DVI (p.51) デジタル入力 (TMDS (p.51)) 対応
- 水平周波数:アナログ信号入力時 30~82kHz、デジタル信号入力時 30~81kHz 垂直周波数:アナログ信号入力時 49~86Hz (1280x1024 モード時~76Hz) デジタル信号入力時 59~61Hz、(VGA TEXT 時 70Hz)
 - 表示解像度:1280 ドット×1024 ライン
- ActiveShot (ピクチャーインピクチャー) 機能搭載 (p.31)
- ActiveRotation (縦型表示) 機能搭載 (p.35)
- スムージング(ソフト~シャープ)機能搭載(拡大表示時、p.26)
- オートアジャスト機能、画面調整ソフト(付属)による容易な画面調整
- ColorManagement 機能搭載(p.27)
- sRGB 対応 (p.51)
- 高さ調整機能付きスタンドによる、自由な高さ調整
- スリムエッジ(狭額縁)仕様

1-2. 梱包品の確認

以下のものがすべて入っているか確認してください。万一、不足しているものや破損 しているものがある場合は、販売店またはエイゾーサポートにご連絡ください。

- モニター本体
- 電源コード
- 二芯アダプタ
- 信号ケーブル(FD-C16)
- 信号ケーブル(MD-C87)

- EIZO USB ケーブル (MD-C93)
- EIZO LCD ユーティリティディスク
- 取扱説明書(本書)
- クイックリファレンス
- 保証書

参考

- 梱包箱や梱包材は、本機の移動や輸送用に保管していただくことをおすすめします。
- EIZO USB ケーブルは、EIZO LCD ユーティリティディスク内のプログラム 「ActiveRotation アプリケーション (Windows 用)」を使用する場合に接続します。 詳細は、EIZO LCD ユーティリティディスク内の readmeja.txt を参照してください。

1-3. 各部の名称

前面



- *1 ScreenManager<その他>メニュー<設置方向>を「縦置き(ハード/ソフト)」に 設定すると上・左・右・下に変わります。(p.35)
- *2 オフタイマー設定時の電源ランプ表示については p.19を参照してください。

電源オフ

消灯

背面



- (10) 高さ調整機能付きスタンド*3
- (11) *i*·Sound™(オプションスピーカー)用電源端子カバー
- (12) 盗難防止用ロック**
- (13) D-Sub15 ピン(ミニ)コネクタ (SIGNAL 1)
- (14) DVI-I コネクタ (SIGNAL 2)
- (15) USB アップストリームポート(1 ポート)^{※5}
- (16) USB ダウンストリームポート(2 ポート)
- (17) 電源コネクタ
- **3 本機はモニターの縦型表示に対応しています(時計回りに90度回転させることができます)。(p.35参照) また、本機はスタンド部分を取り外してアーム(別のスタンド)を取り付けることができます。(p.40参照)
- ※4 盗難防止用ロックは、Kensington 社製のマイクロセーバーセキュリティシステム に対応しています。
- *5 EIZO LCD ユーティリティディスク内のプログラム「ActiveRotation アプリケー ション (Windows 用)」を使用する場合に接続します。(詳細は CD-ROM 内 readme.txt を参照)

第2章 接続手順

2-1. 接続の前に

今まで使用していたモニターを本機に置き換える場合、コンピュータと接続する前に、 下表を参照して、必ず本機で表示できる解像度(p.50)、周波数に変更しておいてく ださい。

参考

● DDC に対応したシステムの場合、本機をコンピュータに接続するだけで特別な設定 をすることなく、最適な解像度、リフレッシュレートの設定が可能になります。

アナログ信号入力をする場合

解像度	垂直周波数	ドットクロック	備考
640 × 480	\sim 85 Hz		VGA, VESA
640 × 480	67 Hz	140 MHz	Apple Macintosh
720 × 400	70 Hz	(最大)	VGA TEXT
800 × 600	\sim 85 Hz		VESA
832 × 624	75 Hz		Apple Macintosh
1024 × 768	\sim 85 Hz		VESA
1152 × 864	75 Hz		VESA
1152 × 870	75 Hz		Apple Macintosh
1152 × 900	\sim 76 Hz		SUN WS
1280 × 960	60 Hz		VESA
1280 × 960	75 Hz		Apple Macintosh
1280 × 1024	67 Hz		SUN WS
1280 × 1024	\sim 75 Hz		VESA

デジタル信号入力をする場合

下記解像度にのみ対応しています。

解像度	垂直周波数	ドットクロック	備考
640 × 480	60 Hz		VGA
720 × 400	70 Hz	120 MHz	VGA Text
800 × 600	60 Hz	(最大)	VESA
1024 × 768	60 Hz		VESA
1280 × 1024	60 Hz		VESA

2-2. 接続手順

注意点

● モニターとコンピュータの電源が入っていないことを確認してください。

1. 信号ケーブルを信号入力コネクタとコンピュータに接続します。

信号ケーブル接続後、各コネクタの固定ネジを最後までしっかりと回して、確実 に固定してください。

アナログ信号を入力する場合

D-Sub15 ピン (ミニ)	D-Sub15 ピン(ミニ) DVI						
MD-C87	FD-C16 電源コード						
信号ケーブル	コネクタ(コンピュータ側)	コンピュータ					
付属 FD-C16 または MD-C87	ビデオ出力コネクタ/	● DOS/V マシン					
	D-Sub15 ピン(ミニ)	 Power Macintosh G3 (Blue&White) / Power Mac G4 (VGA) 					
付属 FD-C16 または MD-C87 +M6A*(オプション)	ビデオ出力コネクタ/ D-Sub15 ピン(ミニ)	 Macintosh 					

*Macintosh 用アダプタ

デジタル信号を入力する場合



信号ケーブル	コネクタ(コンピュータ側)	コンピュータ
DD200(オプション)	ビデオ出力コネクタ/DVI コ	• Power Mac G4 (DVI)
	ネクタ	● デジタルグラフィック スカード

注意点

● Power Mac G4/G4 Cube の ADC (Apple Display Connector) には対応し ていません。

- 2. 付属の電源コードを電源コネクタに接続します。
- 3. ケーブル類をケーブルホルダーに収納します。

注意点

● ケーブル類を収納する際は、スタンドの昇降、縦型表示を考慮して、長さに多少の余裕をもたせてください。



4. 電源コードを電源コンセントに接続します。

▲ 警告

付属の電源コードを 100VAC 電源に接続して使用する 付属の電源コードは日本国内 100VAC 専用品です。 誤った接続をすると火災や感電の原因となります。



電源コンセントが二芯の場合、付属の二芯アダプタを使用し、 安全(感電防止)および電磁界輻射低減のため、アースリード (緑)を必ず接地する なお、アースリードは電源プラグをつなぐ前に接続し、電源プ

ラグを抜いてから外してください。順序を守らないと感電の原 因となります。二芯アダプタのアースリード、および三芯プラ グのアースが、コンセントの他の電極に接触しないようにして ください。



5. 電源を入れます。

モニターの電源を入れてから、コンピュータの電源を入れます。 電源ランプが点灯(青色)し、画面が表示されます。 電源スイッチを入れても画面が表示されない場合には、「第 10 章 故障かなと 思ったら(p.42)」を参照してください。 使用後は、電源を切ってください。

6. 縦型表示にする場合は「第6章 ActiveRotation 機能 (p.35)」を参照 してください。

参考

- 電源を入れると、画面右上に入力されている信号の種類(入力信号1/アナログもしくは入力信号2/アナログまたはデジタル)がおよそ2秒間表示されます。
- 画面が暗すぎたり、明るすぎたりすると目に悪影響を及ぼすことがあります。状況 に応じてモニター画面の明るさを調整してください。
- 長時間モニター画面を見続けると目が疲れますので、1 時間に 10 分程度の休憩を 取って下さい

2-3.2 台のコンピュータをつなぐ

本機は、背面の D-Sub 1 5 ピン(ミニ)コネクタ、DVI コネクタに 2 台のコンピュー タを接続し、切り替えて表示することができます。

接続例





	コンピュータ 1		コンピュ	ータ 2		
例 1	アナログ	D-Sub	信号ケーブル	信号ケーブル	D-Sub	アナログ
		15 ピン	(付属 MD-C87)	(付属 FD-C16)	15 ピン	
		(ミニ)			(ミニ)	
例 2	アナログ	D-Sub	信号ケーブル	信号ケーブル	DVI	デジタル
		15 ピン	(付属 MD-C87)	DD200(オプション)		
		(ミニ)				

入力信号の切替方法

コントロールパネルの入力切替ボタンで切り替えます。押すたびに信号が切り替わり ます。なお、信号を切り替えた時には、現在表示されている信号の種類(入力信号1 /アナログまたは入力信号2/アナログまたはデジタル)が画面右上に2秒間表示さ れます。



参考

● ActiveShot 機能使用時に入力切替ボタンを押すと、子画面と親画面の表示画像が入れ替わります。(p.31参照)

優先的に表示される信号を設定する

2台のコンピュータを接続した時、どちらか一方のコンピュータを優先的に表示させ ることができます。モニターは定期的に入力信号を確認し、ScreenManager<その 他>の<入力プライオリティ>設定で優先のおかれている信号が入力されてきた場 合、そちらの信号に自動で切り替わります。

コンピュータが1台しか接続されていない場合は、優先信号が入力信号1または入力 信号2のどちらに設定されていても、信号は自動検知されます。

優先設定	機能
1 (「入力信号 1」、 D-Sub15 ピン(ミニ)	コンピュータが2台接続されている場合は、以下の場合に優先入力 設定が機能します。 ● モニターの電源を入れたとき
コネクタからの入力)	● 「入力信号 2」を表示していても「入力信号 1」の信号状態が変 化した場合
2 (「入力信号 2」、DVI コ	コンピュータが2台接続されている場合は、以下の場合に優先入力 設定が機能します。 ● モニターの電源を入れたとき
ネクタからの入力)	● 「入力信号 1」を表示していても「入力信号 2」の信号状態が変 化した場合
マニュアル	コンピュータの信号を自動検知しません。コントロールパネルの入 力切替ボタンで表示させたい入力信号を選択してください。

参考

● 節電機能について

<入力プライオリティ>で「1」または「2」が選択されている場合は、2 台のコ ンピュータの両方が節電モードに入っている場合のみモニターの節電機能が動作し ます。

第3章 ScreenManager

3-1. 操作方法



1. メニューの表示

コントロールパネルのエンターボタンを押し、メインメニューを表示します。



- 2. 調整/設定
 - (1) コントロールボタンで、調整/設定したい項目を選択し、エンターボタンを押して、選択した項目のサブメニューを表示します。
 - (2) コントロールボタンで、調整/設定したい項目を選択し、エンターボタンを押 して、選択した項目の調整/設定メニューを表示します。
 - (3) コントロールボタンで調整/設定し、エンターボタンを押して確定します。
- 3. 終了
 - (1) サブメニューより<リターン>を選択し(下ボタンを 2 回押すと移動しま す。)、エンターボタンを押して、メインメニューに戻ります。
 - (2) メインメニューより<メニューオフ>を選択し(下ボタンを2回押すと移動 します。)、エンターボタンを押して、ScreenManagerを終了します。

参考

● エンターボタンをすばやく続けて 2 回押すと、どの調整メニューからでも ScreenManager を終了することができます。

3-2. 機能一覧

ScreenManager の調整、および設定項目一覧表です。 「*」はアナログ信号入力のみ、「**」はデジタル信号入力のみの機能です。

メインメニュー	サブ	「メニュー		調整/設定内容
ピクチャー調整	クロック		*	「4-1. 画面調整」(p.21)参照
	フェーズ		*	
	ポジション		*	
	解像度		*	
	レンジ調整		*	
	スムージング			
	信号フィルタ		*	
ColorManagement	カラーモード			「4-3. カラー調整」(p.27)参照
	カスタム フ	ブライトネス/		
	=	コントラスト		
	É	色温度		
	É	色の濃さ		
	É	色合い		
	5	デイン		
	ļ	ノセット		
	sRGB 7	ブライトネス		
ピクチャーインピク	スタンダード			「第5章 ActiveShot機能」(p.31)参
チャー	切り取り			照
PowerManager	DVIDMPM		**	「4-4」 筋雷設定について」 (p.29) 参照
. enernanager	VESA DPMS		*	
	FIZO MPMS		*	
その他	拡大モード			
	ボーダー			
	入力プライオリ	リティ		優先的に表示される信号を選択する
				(p.16)
	オフタイマー			タイマー (使用時間)を設定する (p.19)
	ビープ音			ビープ音を設定する(p.48)
	メニュー設定	サイズ		メニューサイズを拡大する
		ポジション		メニュー位置を移動する
		オフタイマー		メニュー表示時間を設定する
		半透明		メニューの透明度を設定する
	設置方向			「第6章 ActiveRotation機能」(p.35)
				参照
	電源ランプ			画面表示時の電源ランプ(青)を無灯
				にする (p.20)
	リセット			調整/設定状態をすべて初期設定に戻す
				(p.48)
インフォメーション	インフォメーシ	ション		設定状況および機種名、製造番号、モニ
				ターの使用時間*1を確認する
言語選択	英語・ドイツ語	・フランス語・		ScreenManager の言語を選択する
	スペイン語・イ	タリア語・		
	スウェーデン語	吾・日本語		
*1 工場検査などのた	め、購入時に	使用時間が「C)」``	ではない場合があります。

3-3. 特殊機能

調整ロック機能

一度調整/設定した状態をむやみに変更したくないときにご利用ください。

ロックされる機能	● ScreenManager による調整/設定
	● オートボタン
ロックされない機能	● コントロールボタンによるコントラスト・ブライトネス調整
	● 入力切替ボタン
	● PinP ボタン

[設定方法]

- (1) コントロールパネルの電源ボタンを押していったん電源を切ります。
- (2) オートボタンを押しながら電源を入れます。

[解除方法]

- (1) コントロールパネルの電源ボタンを押していったん電源を切ります。
- (2) オートボタンを押しながら再度電源を入れると、調整ロックが解除され画面が表示されます。

タイマー機能

モニターの使用時間を設定することにより、設定した時間が終了すると自動的にモニ ターの電源がオフされます。モニターに長時間同じ画像を表示させていると生じる残 像現象(p.50)を軽減するための機能です。一日中同じ画像を表示しておくような場 合にご利用ください。

[設定方法]

ScreenManager<その他>メニューより<オフタイマー>を選択します。
 「有効」を選択した後、モニターの使用時間(1H~23H)を設定します。

[オフタイマーの流れ]

タイマー	モニターの状態	電源ランプ
設定時間(1H~23H)	オン	青点灯
設定時間終了15分前	予告期間*1	青点滅
設定時間終了後	電源オフ	黄ゆっくり点滅

*¹ 予告期間中にコントロールパネルの電源ボタンを押すと、押した時点から 90 分延長するこ とができます。延長は回数に制限がなく何度でもできます。

[復帰方法]

コントロールパネルの電源ボタンを押します。

注意点

 ●節電モード時でもオフタイマーは機能しますが、予告機能は働きません。予告なし に電源がオフされます。

電源ランプ設定

画面表示時の電源ランプ(青)を無灯にすることができます(初期設定では、電源ラ ンプは電源を入れたときに点灯します)。

[設定方法]

- (1) ScreenManager の<その他>メニューより<電源ランプ>を選択します。
- (2) 「無効」に設定します。

EIZO ロゴ非表示機能

本機の電源を入れた時に、EIZO ロゴが画面中央に表示されます。このロゴの表示/非 表示の切り替えができます。(初期設定ではロゴが表示されます。)

[設定方法]

(1) コントロールパネルの電源ボタンを押して、いったん電源を切ります。

(2) エンターボタンを押しながら電源を入れると、ロゴの表示がされなくなります。

[解除方法]

- (1) コントロールパネルの電源ボタンを押して、いったん電源を切ります。
- (2) エンターボタンを押しながら電源を入れると、再びロゴの表示がされます。

第4章 画面調整/設定

デジタル信号入力の場合は、本機の設定データに基づいて画面が正しく表示されます。

4-1. 画面調整

液晶モニターの画面の調整とは、使用するシステムに合わせ、画面のちらつきを抑え たり画像の表示位置やサイズを正しく調整するためのものです。快適に使用していた だくために、モニターを初めてセットアップしたときや使用しているシステムの設定 を変更した場合には、ScreenManager を使用して画面を調整していただくことをお すすめします。付属のユーティリティディスクに画面調整用プログラムが含まれてい ますのでご利用ください。

注意点

- 調整はモニターの電源を入れて、20 分以上経過してからおこなってください。(内部の電気部品の動作が安定するのに約20分かかります。)
- ActiveShot 機能(p.31)を使用するときは、前もって各入力信号の画面調整をお こなってください。

調整手順

1. コントロールパネルのオートボタンを押します。

「もう一度オートボタンを押すとオートアジャストが実行されます」のメッセージ が5秒間表示されます。メッセージが表示されている間にもう一度オートボタン を押すと、自動調整機能が働き(実行中であることを示すメッセージが表示され ます)、クロック、フェーズ、位置、解像度が調整されます。

注意点

 この機能は Macintosh や Windows など、画面の表示可能エリア全体に画像が表示されている場合に正しく動作します。
 DOS プロンプトのような画面の一部にしか画像が表示されていない場合や、 壁紙など背景を黒で使用している場合には正しく動作しません。
 一部のグラフィックスボードで正しく動作しない場合があります。

オートボタンで調整しきれない場合は以降の手順にしたがって調整をおこなって ください。正確に表示された場合は、手順 4 にお進みください。

2. 画面調整用プログラムをインストールします。

「EIZO LCD ユーティリティディスク」(付属品)より、ご使用のシステムに対応 した「画面調整プログラム」をディスク内の readmeja.txt あるいは「お読みく ださい」ファイルにしたがって、インストールし起動します。起動後はプログラ ムの指示にしたがって調整してください。(Windows をお使いの方は「EIZO LCD ユーティリティディスク」の起動メニューから、直接実行できます。) 参考

● ご使用のシステムに対応したプログラムがない場合は、画面に1ドット抜きの パターン(下記参照)などを表示して以下の手順に進んでください。



- 3. ScreenManager の<ピクチャー調整>メニューにより調整します。
 - (1) 縦縞が出ている場合
 - → ○

<クロック>を選択し、左・右のコントロールボタンを使用して縦縞が消える ように調整します。調整が合ったポイントを見逃しやすいので、コントロー ルボタンはゆっくり押して調整するようにしてください。

調整後、画面全体ににじみやちらつき、横線が出た場合は次の「(2)フェーズ 調整」にすすみ調整をおこなってください。



(2) ちらついたり、にじむようにみえる場合

→ 🔟 <フェーズ> (p.50) を調整します。

<フェーズ>を選択し、左・右のコントロールボタンを使用して最もちらつき やにじみのない画面に調整します。

|--|--|--|

注意点

●お使いのコンピュータやグラフィックスボードによっては、完全になくならないものがあります。

(3) 表示位置がずれている場合

→ □ <ポジション>を調整します。

液晶モニターは画素数および画素位置が固定であるため、画像の正しい表示 位置は1箇所です。ポジション調整とは画像を正しい位置に移動させるため の調整です。

<ポジション>を選択し、画像がモニターの表示エリアに適切に表示される ように上・下・左・右のコントロールボタンで調整します。

調整後、画面に縦縞が現れた場合は、「(1)クロック調整」に戻り、再度調整を おこなってください。(クロック→フェーズ→ポジション)



(4)余分な画像が表示されていたり、画像が切れている場合

→ 🛄 <解像度>を確認します。

<解像度>を選択し、調整メニューに表示されている解像度と、入力信号の 解像度が同じになるように上・下のコントロールボタンで垂直方向の、左・ 右のコントロールボタンで水平方向の解像度を調整します。

表示ドット数が多いため、余分な画像が表示されている



表示ドット数が少ないため、画像が切れている



|--|



4. 信号の出力レンジ(レンジ調整)を調整します。

→ 🔽 <レンジ調整> (p.50) で調整します。

信号の出力レベルを調整し、すべての色階調(0~255)を表示できるように調 整します。

[設定方法 1]

<レンジ調整>を選択すると、「オートボタンを押すとオートレンジが実行され ます」のメッセージが5秒間表示されます。メッセージが表示されている間にオ ートボタンを押すと、出力レンジが自動的に調整され、最大の色階調で画像を表 示します。

[設定方法 2]

コントロールボタンを直接押して、コントラスト/ブライトの調整メニューを表示 させた状態で、オートボタンを押すと「オートボタンを押すとオートレンジが実 行されます」のメッセージが5秒間表示されます。メッセージが表示されている 間にオートボタンを押すと、出力レンジが自動的に調整され、最大の色階調で画 像を表示します。(但しコントラスト・ブライトネスの調整値は変更されません。)

4-2. 画像が低解像度の場合

VGA640x480 などの低解像度は 1280x1024 に (画面いっぱいに) 自動的に拡大さ れますが、<その他>メニューの<拡大モード>機能を使用して表示サイズの切り替 えることができます。

1. 画像の表示サイズを変更する場合

→ ぼむ く拡大モード > で切り替えます。

<その他>メニューより<拡大モード>を選択し、上・下のコントロールボタン で「拡大」または「ノーマル」モードを選択します。

メニュー	機能
フルスクリーン	画面いっぱいに画像を表示します。ただし、拡大比率は縦・横一定で はないため、表示画像に歪みが見られる場合があります。
拡大	画面いっぱいに画像を表示します。ただし、拡大比率を縦・横一定に するため、水平・垂直のどちらかの方向に画像が表示されない部分が 残る場合があります。
ノーマル	設定した解像度のままの大きさで画像が表示されます。

例:1024x768 を表示した場合



 ● ActiveRotation 機能(p.35)を使用しているときは、親画面で<拡大モード >を選択することができません。

2. 文字や線がぼやけてみえる場合

→ 💵 <スムージング>の設定を切り替えます。

低解像度を「フルスクリーン」、「拡大」モードにて表示した場合、表示された画 像の文字や線がぼやけて見える場合があります。

<ピクチャー調整>メニューより<スムージング>を選択し、1~5 段階(ソフ ト〜シャープ)から好みに応じて選択します。

注意点

● <スムージング>アイコンは、以下の解像度では選択できません。 1280x1024 の場合 <拡大モード>で解像度を 2 倍に拡大した場合

(例:640x480を1280x960に拡大設定)

3. 画像が表示されていない部分(ボーダー)の明るさを設定する場合 → □ <ボーダー>で設定します。

「ノーマル」、「拡大」モード時には、画像の周囲にボーダー(画像が表示されない 暗い部分)が表示されます。

<その他>メニューより<ボーダー>を選択し、左・右のコントロールボタンで 調整します。



4-3. カラー調整

ScreenManager<ColorManagement>メニューで画面のカラーを調整できます。 <カラーモード>では、<カスタム>モード(好みに応じた色設定ができる)または <sRGB>モードを選択できます。

アナログ信号のカラー調整をおこなうときは、まずくレンジ調整>(p.24)をおこなってください。

注意点

- 調整はモニターの電源を入れて、20分以上経過してからおこなってください。(内部の電気部品の動作が安定するのに約20分かかります。)
- ◆ <ColorManagement>メニューの<リセット>を選択すると、色調は初期設定 (工場出荷状態)に戻ります。
- モニターにはそれぞれ個体差があるため、複数台を並べると同じ画像でも異なる色に見える場合があります。複数台の色を合わせるときは、視覚的に判断しながら微調整してください。

<カスタム>モード:好みの色に調整する

明るさ(ブライトネス)を調整します。

→ ♡ <ブライトネス>で調整します。

バックライトの明るさを調整し、画面全体の明るさを好みの状態に調整します。 <ブライトネス>を選択し、下・上のコントロールボタンでブライトネスを選択 し、左・右のコントロールボタンで調整します。

参考

● 直接コントロールボタンを押しても、コントラスト・ブライトネスの調整がで きます。調整後はエンターボタンを押してください。

コントラストを調整します。

→ 🕕 <ブライトネス>で調整します。

赤・緑・青の信号の明るさを同時に調整し、好みの状態に調整します。 <ブライトネス>を選択し、下・上のコントロールボタンでコントラストを選択 し、左・右のコントロールボタンで調整します。

注意点

● 調整値が 100%以外は、すべての階調を表示できないことがあります。

色温度(p.50)の選択

4,000K~10,000K まで 500K 単位で選択します。(9,300K 含む) 初期設定は「オフ」(パネル本来の色)です。

参考

- 「K」表示は調整値の目安としてご利用ください。
- 4,000K より低く、あるいは 10,000K より高くすると、設定が自動的に「オ フ」になります。

色を鮮やかにする場合

→ 🖳 <色の濃さ>で調整します。

-16~16の間で調整します。最小値(-16)で白黒の画面となります。

注意点

● 本機能を使用することにより、すべての色階調を表示できないことがあります。

肌色など好みの色合いにする場合

→ 🐶 <色合い>で調整します。

-20~20の間で調整します。

注意点

● 本機能を使用することにより、すべての色階調を表示できないことがあります。

赤・緑・青をそれぞれ調整し、好みの色調にする場合

→ (]) <ゲイン> (p.50) で色調を調整します。

赤、緑、青のそれぞれの明度を調整することにより、色調を自分でつくります。 100%の状態が何も調整していない状態となります。背景が白またはグレーの画 像を表示して調整してください。

参考

- 「%」表示は調整値の目安としてご利用ください。
- 本設定は<色温度>(p.28参照)の設定をすると無効になります。ゲインの設 定は何も調整していない状態(すべての色が 100%)に変わります。

<sRGB>モード:sRGB モードを選択する

→<sRGB>に切り替えます。

明るさ(ブライトネス)を調整します。

→ ○ <ブライトネス>で調整します。

調整方法については p.27を参照ください。

4-4. 節電設定について

ScreenManagerの<PowerManager>メニューで節電機能を設定できます。

注意点

 ● 完全な節電のためにはモニターの電源をオフすることをおすすめします。また、電 源プラグを抜くことで、確実にモニター本体への電源供給は停止します。

アナログ信号入力の場合

本機は「VESA DPMS (p.51)」に準拠し、さらにスクリーンセーバー(模様なし) など、黒画面に連動する「EIZO MPMS (p.51)」を採用します。

コンピュータの節電機能「VESA DPMS」を使用する場合

[設定方法]

(1) コンピュータの節電機能を設定します。

(2) <PowerManager>メニューより、「VESA DPMS」を選択します。

[節電の流れ]

コンピュータの設定に連動し5秒後に節電モードに入ります。

コンピュ-	−タの状態	モニターの状態	電源ランプ
オ	ン	オペレーションモード	青
節電モード	スタンバイ サスペンド オフ	節電モード	黄

[復帰方法]

キーボードまたはマウスを操作します。

スクリーンセーバー(黒画面)に連動させる場合

[設定方法]

- コンピュータのスクリーンセーバーの「模様なし」や画面全体が黒になるパター ンを設定します。
- (2) <PowerManager>メニューより、「EIZO MPMS」を選択します。

[節電の流れ]

コンピュータの設定に連動し5秒後に節電モードに入ります。

コンピュータの状態	モニターの状態	電源ランプ
オン	オペレーションモード	青
スクリーンセーバーが働く 省エネルギー設定が働く(Macintosh)	節電モード	黄

[復帰方法]

キーボードまたはマウスを操作します。

注意点

● Macintosh の「省エネルギー設定」の場合は「EIZO MPMS」を設定してください。

デジタル信号入力の場合

本機は DVI DMPM (p.51) に準拠しています。

[設定方法]

(1) コンピュータの節電機能を設定します。

(2) <PowerManager>メニューより「DVI DMPM」を選択します。

[節電の流れ]

コンピュータの設定に連動し5秒後に節電モードに入ります。

コンピュータの状態	モニターの状態	電源ランプ
オン	オペレーションモード	青
節電モード	節電モード	黄
オフモード	節電モード ^{※1}	黄点滅(2 回ずつ)

^{*1} コンピュータのオフモードは<入力プライオリティ>機能が「マニュア ル」に設定されている場合にのみ有効です。

[復帰方法]

コンピュータ/節電モードからの復帰:キーボードまたはマウスを操作します。 コンピュータ/オフモードからの復帰:コンピュータの電源を入れます。

第5章 ActiveShot 機能

ActiveShot (Picture in Picture) は、本体に2台のコンピュータが接続されている 場合、両方の表示画像を親画面と子画面に同時に表示することができる機能です。2 台のコンピュータの接続方法については p.15を参照してください。

[例]



│ PinP ボタン 入力切替ボタン

5-1. 操作方法

子画面のオン/オフ

オン:コントロールパネルの PinP ボタンを押します。 オフ:もう一度 PinP ボタンを押します。

親画面・子画面の表示画像の入れ替え

入力切替ボタンを押すと親画面と子画面の表示画像が入れ替わります。

注意点

- ActiveRotation 機能(p.35)を使用しているときは、ActiveShot 機能は使用でき ません。
- ActiveShot 機能を使用しているときは、動画がちらつくことがあります。

5-2. 子画面の設定

表示モード

子画面の表示方法には<スタンダード>モードと<切り取り>モードがあります。 (下図参照)

ScreenManagerの<ピクチャーインピクチャー>メニューを使って設定します。



<スタンダード>モード

表示画像の全画面を子画面に縮小表示します。 ScreenManager <ピクチャーインピクチャー>メニューで<スタンダード>を選択 します。

サイズを選択する

→ モキネヲ <子画面サイズ>を選択します。

子画面のサイズを「ラージ」(約 1/4)と「スモール」(約 1/16)から選択します。 <子画面サイズ>を選択し、「ラージ」もしくは「スモール」を選択します。

参考

● サイズ選択後の実際の子画面サイズは入力信号によって異なります。

位置を調整する場合

→ 🔄 <子画面ポジション>を選択します。

モニター画面上の子画面の位置を調整します。

<子画面ポジション>を選択し、上・下・左・右のコントロールボタンで調整し ます。

コントラストを調整する場合

赤・緑・青の信号の明るさを同時に調整し、好みの状態に調整します。 <子画面コントラスト>を選択し、左・右のコントロールボタンで調整します。

<切り取り>モード

表示画像の任意の範囲を切り取って子画面に表示します。 ScreenManager <ピクチャーインピクチャー>メニューで<切り取り>モードを 選択します。



切り取り範囲の設定

→ 🔀 <切り取りエリア>を選択し、切り取り範囲を設定します。

[切り取り手順]

- (1) (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
- (2) (2) (切り取りポジション>を選択し、上・下・左・右のコントロールボタンで、枠の左上を切り取りたい範囲の左上に合わせ、エンターボタンを押します。
- (3)

 (3)

 く切り取りサイズ>を選択し、上・下・左・右のコントロールボタンで、

 左上を起点にして、枠のサイズを切り取りたい範囲に合わせ、エンターボタンを押します。(枠のサイズには制限があります。)
- (4) (4) (4)
 >

 を選択すると、設定した切り取り範囲が子画面として表示

 されます。



切り取りたい範囲

位置を調整する場合

→ 🔄 <子画面ポジション>を選択します。

モニター画面上の子画面の位置を調整します。

<子画面ポジション>を選択し、上・下・左・右のコントロールボタンで調整し ます。

コントラストを調整する場合

赤・緑・青の信号の明るさを同時に調整し、好みの状態に調整します。 <子画面コントラスト>を選択し、左・右のコントロールボタンで調整します。

5-3. コントロールボタンを使った操作方法

コントロールパネルのコントロールボタンとエンターボタンを使って、簡単に子 画面のブライトネス・コントラスト、サイズ、位置などを調整/設定できます。詳 しくは付属のクイックリファレンスをご参照ください。

第6章 ActiveRotation 機能

ActiveRotation は特定のグラフィックスカードを使用している場合に、市販のソフトウェアを使わずに、モニターの表示画像を縦型に表示する機能です。

最新の対応グラフィックスカード情報は EIZO ホームページ (http://www.eizo.co.jp/) を参照してください。



注意点

- ActiveShot 機能(参照 p.31)を使用しているときは、ActiveRotation 機能を実行 することができません。
- 2 台のコンピュータを接続している場合、もう一方の画像は適切な縦型に表示され ない場合があります。

実行手順

実行方法は対応グラフィックスカードによって異なります。 EIZO ホームページを参照してください。

「ActiveRotation アプリケーション(Windows 用)」を使う

「ActiveRotation アプリケーション (Windows 用)」を使って簡単に縦型に表示する ことができます。詳細は EIZO LCD ユーティリティディスク内の readme.txt を参照 してください。

ScreenManager を使う

- ScreenManagerの<その他>メニューの<設置方向>より「縦置き(ハード)」 を選択します。
- (2) モニターを90°回転させて、縦置きにします。
- (3) コンピュータを再起動します。(Windows のスタートボタンが隠れている場合は キーボードの[Windows]キー、もしくは[Ctrl]、[Alt]、[Delete]キーを同時に押し て再起動してください。)
- (4) 表示画像が縦型に表示されます。(好みの解像度に変更する場合は、[画面のプロ パティ]の[設定] タブをクリックし、解像度を設定してください。)

注意点

- 縦型から横型に戻すときは、ScreenManager の<その他>メニューの<設置 方向>で「横置き」を選択し、コンピュータを再起動してください。
- 縦型表示でご使用の場合に、ScreenManager をリセットすると、横型表示に 戻ります。コンピュータを再起動してから、もう一度上記の手順で縦型に設定 してください

対応グラフィックスカード以外をお使いの場合

市販のソフトウェアを使って表示画像を縦型表示にしてください。



● ScreenManager の<その他>メニューの<設置方向>にて「縦置き(ソフト)」を選択すると、ScreenManager メニューが90°回転します。

第7章 おすすめ機能

必要に応じて、下記の機能をご使用ください。

機能	参照
低解像度の画面を表示した際の設定をおこなう	4-2. 画像が低解像度の場合 (p.25)
画面の調整(クロック、フェーズ、ポジション、	デジタル信号入力の場合は、本機の設定
解像度)を自動的におこなう	データに基づいて画面が正しく表示さ
	れます。
	4-1. 画面調整(p.21)
タイマー(使用時間)を設定する	タイマー機能(p.19)
調整/設定した状態をロックする	調整ロック機能(p.19)
モニターを縦型にして使う	第6章 ActiveRotation機能 (p.35)

2台のコンピュータを接続している場合

機能	参照
子画面を表示する	第5章 ActiveShot 機能(p.31)
優先的に表示される信号を設定する	優先的に表示される信号を設定する (p.16)

第8章 USB (Universal Serial Bus)の活用

本機は USB 規格に対応しているハブを搭載しています。USB 対応のコンピュータま たは他の USB ハブに接続することにより、本機が USB ハブとして機能し、USB に対 応している周辺機器と接続できます。

必要なシステム環境

- USB ポートを搭載したコンピュータ、あるいは USB 対応のコンピュータに接続している他の USB ハブ
- Windows 98/Me/2000/XP または Mac OS 8.5.1 以降
- EIZO USB ケーブル (MD-C93) 付属

注意点

- 使用するコンピュータおよび周辺機器によっては動作しない場合がありますので、 各機器の USB 対応については各メーカーにお問い合わせください。
- 使用する機器は USB Rev. 2.0 対応のものをおすすめします。
- モニターの主電源が入っていないと、ダウンストリームに接続している周辺機器は 動作しません。
- モニターが節電モードの状態に入っても、USB ポート(アップストリームおよびダ ウンストリーム)に接続されている機器は動作します。
- 以下は Windows 98/Me/2000/XP および Mac OS の場合の手順になります。

接続方法(USB 機能のセットアップ方法)

- はじめにコンピュータとモニターを信号ケーブルで接続し(p.13参照)、 コンピュータを起動しておきます。
- **2.** USB 対応のコンピュータ(あるいは他の USB ハブ)のダウンストリームとモニターのアップストリームを USB ケーブルで接続します。





USB ケーブルの接続より自動的に USB 機能がセットアップされます。

 セットアップが完了すると、モニターが USB ハブとして機能し、さまざ まな USB 対応の周辺機器をモニターの USB ポート (ダウンストリーム) に接続することができます。

接続例







第9章 アーム取付方法

本機はスタンド部分を取り外すことによって、アームあるいは別のスタンドに取り付けることが可能になります。

アームまたはスタンドは当社オプション品をご利用ください。

注意点

- 他社製のアームまたはスタンドを使用する場合は、以下の点をアームまたはスタンドメーカーにご確認のうえ、お選びください。
 - 取付部のネジ穴間隔:100 mm x 100 mm (VESA 規格準拠)
 - 一 耐荷重:モニター本体(スタンドなし)とケーブルなどの装着物の総重量に耐え られること
- ケーブル類は、アームを取り付けた後に接続してください。

取付方法

1. スタンド接合部のカバーの中央部(上下)を押さえ、左右にスライドして 取り外します。



スタンド接合部カバー

- 2. 液晶パネル面が傷つかないよう、安定した場所に柔らかい布などを敷いた 上に、パネル面を下に向けて置きます。
- スタンド部分を取り外します。(別途ドライバーを準備ください。)
 ドライバーを使って、本体部分とスタンドを固定しているネジ (M4×15 mm BZn/Fe:4箇所)を取り外します。

4. モニターをアーム (またはスタンド) に取り付けます。



取付用ネジ: M4×15mm BZn/Fe:4箇所

第10章 故障かなと思ったら

症状に対する処置をおこなっても解消されない場合は、販売店またはエイゾーサポー トにご相談ください。

- 画面が表示されない場合 → 項目 1、2 を参照してください。
- 画面に関する症状 → 項目 3~13 を参照してください。
- その他の症状 → 項目 14~19 を参照してください。

	症状	チェックポイント/対処方法
1.	画面が表示されない	□ 電源コードは正しく差し込まれていますか。電
	● 電源ランプが点灯しない	源スイッチを切り、数分後にもう一度電源を入 れてみてください。
	● 電源ランプが点灯:青色	 コントラストおよびブライトネスの設定を確認してみてください。
	● 電源ランプが点灯:黄色	□ 入力切替ボタンで入力信号を切り替えてみて ください。
		 □ マウス、キーボードを操作してみてください。 (→p.29参照)
	● 電源ランプが点灯: 黄色(ゆっくり 点滅)	□ 電源ボタンを押してみてください。
	● 電源ランプが点灯:黄色(2 回点滅)	□ コンピュータの電源を入れてみてください。
2.	以下のようなメッセージが表示される (この表示は約 40 秒間表示されます。)	この表示はモニターが正常に機能していても、信 号が正しく入力されないときに表示されます。
	● 信号が入力されていない場合の表示	□ コンピュータによっては電源投入時に信号が
	です。	すぐに出力されないため、 左のようなメッセー ジが表示されることがあります
	シグナル 2	□ コンピュータの電源は入っていますか。
	fH: 0.0kHz fV: 0.0Hz	□ 信号ケーブルは正しく接続されていますか。
		□ 入力切替ボタンで入力信号を切り替えてみて ください。
	● 入力されている信号が周波数仕様範	□ グラフィックスボードのユーティリティなど
	囲外であることを示す表示です。(範	で、適切な表示モードに変更してください。詳
	囲外の信号は赤色で表示されます。)	しくはグラフィックスボードの取扱説明書を
	1913 - 入力信号エラー	参照してくたさい。
	デジタル fD:125.0MHz fH: 80.0kHz fU: 60.0Hz	

	症状	チェックポイント/対処方法
3.	画像がずれている	 □ <ポジション>で調整してみてください。 (→p.23 参照) □ ご使用のグラフィックスボードのユーティリ ティなどに画像の位置を変える機能があれば、 その機能を使用して調整してください。
4.	画像の一部が表示されない/余分な画 像が表示される	□ <解像度>で入力信号の解像度と解像度調整 メニューの解像度が合うように調整してくだ さい。(→p.23 参照)
5.	画面に縦線が出ている/画面の一部が ちらついている	□ <クロック>で調整してみてください。(→ p.22参照)
6.	画面全体がちらつく、にじむように見 える	□ <フェーズ>で調整してみてください。(→ p.22参照)
7.	文字がぼやけて見える	□ <スムージング>で調整してみてください。 (→p.26参照)
8.	画面の上部が下図のように歪む	□ コンポジットシンク(X-OR)の信号とセパレ ートシンクの垂直同期信号が同時に入力され ている場合に起こります。入力する信号をコン ポジットかセパレートのどちらか一方にして ください。
9.	画面が明るすぎる/暗すぎる	 コントラスト・ブライトネス (p.27) を調整してください。(LCD モニターのバックライトには、寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたりするようになったら、エイゾーサポートにご相談ください。)

症状	チェックポイント/対処方法
10. 残像が現れる	□ 長時間同じ画像を表示していると、表示を変えた時に前の画像の残像が現れることがあります。これは液晶の特性によるもので、別の画像が表示されてしばらく経過すると解消されます。長時間同じ画像を表示するようなときには、タイマー機能の活用をおすすめします。(→ p.19参照)
11. 画面に緑、赤、青、白のドットが残るま たは点灯しないドットが残る	□ これらのドットが残るのは液晶パネルの特性 であり、故障ではありません。
12. 画面上に干渉縞が見られる/パネルを 押したあとが消えない	□ 画面全体に白い画像を表示してみてください。 症状が解消されることがあります。
13. 表示された画面にノイズがある	□ <ピクチャー調整>の<信号フィルタ>でモ ードを切り替えてみてください。
14. ScreenManager において、 <ピクチャー調整>の<スムージング >アイコンが選択できない	 □ 以下の解像度においては選択できません。 ● 1280×1024の場合 □ <拡大モード>で解像度を2倍に拡大した場 合選択できません。(例:640x480を 1280x960に拡大設定) □ ActiveRotation機能が実行されていないか確 認してみてください。(→p.35参照)
15. ScreenManager が起動できない	□ 調整ロックが機能していないか確認してみて ください。(→p.19参照)
16. オートボタンが正しく動作しない	 コートボタンはデジタル信号入力時には機能しません。 調整ロックが機能していないか確認してみてください。(→p.19参照) この機能は Macintosh や Windows など表示可能エリア全体に画像が表示されている場合に正しく動作します。 DOS プロンプトのような画面の一部にしか画像が表示されていない場合や、壁紙など背景を黒で使用している場合には正しく動作しません。 一部のグラフィックスボードで正しく動作しない場合があります。

症状	チェックポイント/対処方法
17. Windows 98/Me/2000/XP におい て、ユーティリティディスクをインス トールしても周波数が変わらない	□ グラフィックスボードのユーティリティソフ トを利用して入力信号周波数を変えてみてく ださい。
18. ActiveShot 機能が実行できない	 □ ActiveRotation 機能が実行されていないか確 認してみてください。(→p.35参照)
19. ActiveRotation 機能が実行できない	□ ActiveShot 機能が実行されていないか確認してみてください。(→p.31参照)

第11章 お手入れ

本製品を美しく保ち、長くお使いいただくためにも定期的にクリーニングをおこなう ことをおすすめします。

注意点

● 溶剤や薬品(シンナーやベンジン、ワックス、アルコール、その他研磨クリーナなど)は、キャビネットや液晶パネル面をいためるため絶対に使用しないでください。

キャビネット

柔らかい布を中性洗剤でわずかにしめらせ、汚れをふき取ってください。(使用不可の 洗剤については上記の注意を参照してください。)

液晶パネル面

- ●汚れのふき取りにはコットンなどの柔らかい布や、レンズクリーナー紙のようなものをご使用ください。
- 落ちにくい汚れは、少量の水をしめらせた布でやさしくふき取ってください。ふき 取り後、もう一度乾いた布でふいていただくと、よりきれいな仕上がりとなります。

参考

● パネル面のクリーニングには ScreenCleaner (オプション品) をご利用いただくこ とをおすすめします。

第12章 仕様

液晶パネル	48cm(19.0)型カラーTFT、乱反射ハードコーティング
	視野角:上下 170°、左右 170°
ドットピッチ	0.294mm
水平走査周波数	アナログ信号入力時 30~82kHz(自動追従)
	デジタル信号入力時 30~81kHz
垂直走査周波数	アナログ信号入力時 49~86Hz(自動追従)
	(1280x1024 モード時:~76Hz)
	デジタル信号入力時 59~61Hz(VGA TEXT 時 70Hz)
解像度	1280 ドット×1024 ライン
ドットクロック(最大)	アナログ信号入力時 140MHz
	デジタル信号入力時 120MHz
最大表示色	1677 万色
表示サイズ(水平×垂直)	376mm×301mm
電源	AC100V±10%、50/60Hz、0.6A
消費電力	最小(通常):53W
	最大:60W(オプションスピーカー使用時)
	節電モード:3W 以下(オプションスピーカーおよび USB 機
	器未接続時)、電源スイッチオフ時:OW
信号入力コネクタ	D-Sub15 ピン(ミニ)コネクタ、DVI-I コネクタ
アナログ信号 入力同期信号	a)セパレート、TTL、正/負極性
	b)コンポジット、TTL、正/負極性
	c)シンクオングリーン、0.3Vp-p、負極性(縦型表示時除く)
アナログ信号 入力映像信号	アナログ、正極性(0.7Vp-p/75Ω)
デジタル信号伝送方式	TMDS (Single Link)
ビデオ信号メモリー	55 種(プリセットアナログ 25 種)
プラグ&プレイ機能	VESA DDC 2B
寸法(本体)	414mm(幅)×409.5~509.5mm(高さ)×202.7mm(奥
	行き)
寸法(スタンドなし)	414mm(幅)×340mm(高さ)×62mm(奥行き)
重量(本体)	7.5kg
重量(スタンドなし)	5.2kg
環境条件	動作温度範囲:0℃~35℃、
	輸送および保存温度範囲:-20℃~60℃、
	相対湿度範囲:30%~80% R.H.(非結露状態)
USB 規格	Rev. 2.0 準拠
通信速度	480Mbps (ハイピード)、12Mbps (フルスピード)、
	1.5Mbps (ロースピード)
ダウンストリーム供給電流	最大 500mA/1 ポート
USB ポート	アップストリーム×1、ダウンストリーム×2
適合規格	TCO'03*、TCO'99**、VCCI クラス B、TÜV Rheinland/S マー
	ク、TÜV/Rheinland Ergonomics Approved、PC グリーンラベル
	(* TCO'03:グレーキャビネット仕様のみ適合)

(* TCO'99: ブラックキャビネット仕様のみ適合)

■主な初期設定(工場出荷設定)値

		アナログ信号入力時	デジタル信号入力時		
コントラスト		100%	100%		
ブライトネス		100% 100%			
スムージング		3			
ColorManagement	カラーモード	カスタム	カスタム		
	色温度	オフ(パネル本来の色)	オフ(パネル本来の色)		
PowerManager		VESA DPMS	DVI DMPM		
拡大モード		フルスクリーン			
入力プライオリティ		1			
オフタイマー		無効			
メニュー設定 サイズ		ノーマル			
	オフタイマー	45 秒			
ビープ音		オン			
設置方向		横置き			
電源ランプ		有効			
言語選択		日本語			

■ビープ音設定

ピッという音	エンターボタンで項目を選択した場合
	コントロールボタンで設定値を最大または最小にした場合
	コントロールパネルの入力切替ボタンを押した場合
ピーという音	コントロールパネルのオートボタンを押した場合
	エンターボタンで登録をおこなった場合
ピッピッピッピッとい	モニターの接続が正しく行われていない場合
う音	コンピュータの電源が入っていない場合
	使用範囲外の周波数を受信している場合
15秒に1度ピッピッと	オフタイマーで設定した電源オフ時間終了 15 分前(予告期間)
いう音	

■外観寸法







■入力信号接続

●D-Sub15 ピン(ミニ)コネクタ

[□(6000)_)
0	00000	0
lo	60000)	ار

ピン	入力信号	ピン	入力信号	ピン	入力信号
No.		No.		No.	
1	赤	6	赤グランド	11	(10 ピンとショー
					ト)
2	緑	7	緑グランド	12	データ(SDA)
3	青	8	青グランド	13	水平同期
4	グランド	9	/	14	垂直同期
5	/	10	グランド	15	クロック(SCL)

● DVI-I コネクタ

ピン	入力信号	ピン No.	入力信号	ピン	入力信号		
No.				No.			
1	TMDS Data2-	11	TMDS Data1/3 Shield	21	NC		
2	TMDS Data2+	12	NC	22	TMDS Clock shield		
3	TMDS Data2/4 Shield	13	NC	23	TMDS Clock+		
4	NC*	14	+5V Power	24	TMDS Clock-		
5	NC	15	Ground	C1	Analog Red		
			(return for +5V, Hsync and Vsync)				
6	DDC Clock (SCL)	16	Hot Plug Detect	C2	Analog Green		
7	DDC Data (SDA)	17	TMDS Data0-	C3	Analog Blue		
8	Analog Vertical Sync	18	TMDS Data0+	C4	Analog Horizontal Sync		
9	TMDS Data1-	19	TMDS Data0/5 Shield	C5	Analog Ground (analog R,G,&B return)		
10	TMDS Data1+	20	NC				

(*NC: No Connection)

・USB ポート(USB Revision 2.0 による) アップ ダウン

コネクタ

/ / /	///
ストリーム	ストリーム
$\begin{array}{c} 2 \\ 3 \end{array} \begin{array}{c} 1 \\ 4 \end{array}$	
シリーズB	シリーズA

コネクタ

接点番号	信号名	備考
1	VCC	ケーブル電源
2	- Data	シリアルデータ
3	+ Data	シリアルデータ
4	Ground	ケーブルグランド

第13章 用語集

色温度<Temperature>

白色の色合いを数値的に表したものを色温度といい、K: ケルビン(Kelvin)で表 します。炎の温度と同様に、画面は温度が低いと赤っぽく表示され、高いと青っぽ く表示されます。 5000K: やや赤みがかった白色 6500K: 暖色で紙色に近い白色 9300K: やや青みがかった白色

解像度

液晶パネルは決められた大きさの画素を敷き詰めて、その画素を光らせて画像を表示させています。L795の場合は横 1280 個、縦 1024 個、の画素がそれぞれ敷き詰められています。このため、1280×1024の解像度であれば、画像は画面いっぱい(1対1)に表示されます。

クロック

アナログ入力方式のモニターにおいて、アナログ入力信号をデジタル信号に変換し て画面を表示する際に、使用しているグラフィクスシステムのドットクロックと同 じ周波数のクロックを再生する必要があります。このクロックの値を調整すること をクロック調整といい、クロックの値が正常でない場合は画面上に縦縞が現れます。

ゲイン調整

赤、緑、青それぞれの色の値を調整するものです。液晶モニターではパネルのカラ ーフィルターに光を通して色を表示しています。赤、緑、青は光の3原色であり、 画面上に表示されるすべての色は3色の組み合わせによって構成されます。3色の フィルターに通す光の強さ(量)をそれぞれ調整することによって、色調を変化さ せることができます。

残像現象

同じ画像を長時間表示することによって、表示を変えたときに前の画像が残像とし て見えてしまう現象です。これは液晶の特性によるもので、別の画像を表示してし ばらく経過すると解消します。

フェーズ

アナログ入力信号をデジタル信号に変換する際のサンプリングタイミングのことで す。このタイミングを調整することをフェーズ調整といいます。クロックを正しく 調整した後でフェーズ調整をおこなうことをおすすめします。

レンジ調整

信号の出力レベルを調整し、すべての色階調を表示できるように調整します。カラ ー調整をおこなう前にはレンジ調整をおこなうことをおすすめします。

DVI

(Digital Visual Interface)

デジタルインターフェース規格の一つです。コンピュータ内部のデジタルデータを 損失なくダイレクトに伝送できます。

伝送方式に TMDS、コネクタに DVI コネクタを採用しています。デジタル入力の み対応の DVI-D コネクタと、デジタル/アナログ入力可能な DVI-I コネクタがあり ます。

DVI DMPM

(DVI Digital Monitor Power Management)

デジタルインターフェースの節電機能のことです。モニターのパワー状態について は Monitor ON (オペレーションモード) と Active Off (節電モード) が必須と なっています。)

EIZO MPMS

(EIZO Monitor PowerManager Signaling)

当社が採用している節電機能です。コンピュータからのビデオ信号の判別すること によって、モニターの消費電力を抑えるしくみになっています。

sRGB(Standard RGB)

周辺機器間(モニター、プリンター、デジカメ、スキャナーなど)の「色再現性、 色空間」を統一する目的で成立した国際基準のことです。インターネット用の簡易 的な色合わせの手段として、インターネットの送り手と受け手の色を近い色で表現 できます。

TMDS

(Transition Minimized Differential Signaling) デジタルインターフェースにおける、信号伝送方式の一つです。

VESA DPMS

(Video Electronics Standards Association - Display Power Management Signaling)

VESA では、コンピュータ用モニターの省エネルギー化を実現するため、コンピュ ータ(グラフィックスボード)側からの信号の標準化をおこなっています。DPMS はコンピュータとモニター間の信号の状態について定義しています。

第14章 付録

プリセットタイミング

注意点

- 接続されるコンピュータの種類により表示位置などがずれ、ScreenManager で画 面の調整が必要になる場合があります。
- 次頁に記載されている以外の信号を入力した場合は、ScreenManager で画面の調 整をおこなってください。ただし、調整をおこなっても画面を正しく表示できない 場合があります。
- インターレースの信号は、ScreenManager で調整をおこなっても画面を正しく表示することができません。

工場出荷時に設定されているビデオタイミングは以下のとおりです。

キテエ_ビ	ドットクロック	周波数		極性	
		水平:kHz	垂直:Hz	水平	垂直
VGA 640×480@60Hz	25.175 MHz	31.469	59.940	負	負
VGA 720×400@70Hz	28.322 MHz	31.469	70.087	負	ΤĒ
Macintosh 640×480@67Hz	30.240 MHz	35.000	66.667	負	負
Macintosh 832 × 624@75Hz	57.280 MHz	49.722	74.546	負	負
Macintosh 1152×870@75Hz	100.000 MHz	68.681	75.062	負	負
Macintosh 1280×960@75Hz	126.200 MHz	74.763	74.763	正	正
VESA 640×480@72Hz	31.500 MHz	37.861	72.809	負	負
VESA 640×480@75Hz	31.500 MHz	37.500	75.000	負	負
VESA 640×480@85Hz	36.000 MHz	43.269	85.008	負	負
VESA 800×600@56Hz	36.000 MHz	35.156	56.250	正	正
VESA 800×600@60Hz	40.000 MHz	37.879	60.317	正	正
VESA 800×600@72Hz	50.000 MHz	48.077	72.188	正	正
VESA 800×600@75Hz	49.500 MHz	46.875	75.000	正	正
VESA 800×600@85Hz	56.250 MHz	53.674	85.061	正	正
VESA 1024×768@60Hz	65.000 MHz	48.363	60.004	負	負
VESA 1024×768@70Hz	75.000 MHz	56.476	70.069	負	負
VESA 1024×768@75Hz	78.750 MHz	60.023	75.029	正	正
VESA 1024×768@85Hz	94.500 MHz	68.677	84.997	正	正
VESA 1152×864@75Hz	108.000 MHz	67.500	75.000	正	正
VESA 1280×960@60Hz	108.000 MHz	60.000	60.000	正	正
VESA 1280×1024@60Hz	108.000 MHz	63.981	60.020	正	正
VESA 1280×1024@75Hz	135.000 MHz	79.976	75.025	正	正
WS 1152×900@66Hz	94.200 MHz	61.974	66.141	コンポジット	、シンク、負
WS 1152×900@76Hz	107.500 MHz	71.858	76.202	コンポジット	、シンク、負
WS 1280×1024@67Hz	117.00 0MHz	71.691	67.189	コンポジット	トシンク、負



Congratulations!

The display you have just purchased carries the TCO'03 Displays label. This means that your display is designed, manufactured and tested according to some of the strictest quality and environmental requirements in the world. This makes for a high performance product, designed with the user in focus that also minimizes the Impact on our natural environment.

Some of the features of the TCO'03 Display requirements:

Ergonomics

• Good visual ergonomics and image quality in order to improve the working environment for the user and to reduce sight and strain problems. Important parameters are luminance, contrast, resolution, reflectance, colour rendition and image stability.

Energy

- Energy-saving mode after a certain time beneficial both for the user and environment
- Electrical safety

Emissions

- Electromagnetic fields
- Noise emissions

Ecology

• The products must be prepared for recycling and the manufacturer must have a certified environmental management system such as EMAS or ISO 14000

Restrictions on

- chlorinated and brominated flame retardants and polymers
- heavy metals such as cadmium, mercury and lead.

The requirements includes in this label have been developed by TCO Development in co-operation with scientists, experts, users as well as manufacturers all over the world. Since the end of the 1980s TCO has been involved in influencing the development of IT equipment in a more user-friendly direction. Our labeling system with displays in 1992 and is now requested by users and IT-manufacturers all over the world.

For more information, please visit **www.tcodevelopment.com**

このたびお求めのディスプレイには、TCO'03 ラベルが貼り付けられています。これはこのディスプレイが世界でも最も厳しい、いくつ かの品質・環境要求に従って開発され、製造されたものであることを示しています。TCO'03 ラベルは、ユーザー主体の高性能な製品の 開発や、自然環境への影響を最小限に抑制するために役立っています。

TCO'03 ディスプレイにはいくつかの要求事項があります。

エルゴノミクス

ユーザーの作業環境を改善し、視覚や疲労の問題を軽減するために、優れたビジュアルエルゴノミクスと画像品質が求められます。輝 度、コントラスト、解像度、反射率、演色性、画像の安定性といった項目が重要な要素となります。

エネルギー

一定時間経過後に節電モードに移行することが求められます。これはユーザーおよび環境の双方に有益な要求です。

電気的安全性についても求められています。

エミッション 電磁界やノイズの発生に対する要求事項があります。

エコロジー

TCO'03 製品は、リサイクルシステムを整備しなければなりません。また製造者は EMAS や ISO 14000 といった環境マネジメント システムの認証を受けなければなりません。

塩素系または臭素系難燃剤および高分子化合物の、製品への使用が規制されています。

またカドミウム、水銀、鉛などの重金属についても使用が規制されています。

TCO'03の要求事項は、製造者に加えて世界中の科学者、専門家、ユーザーの協力のもとに TCO Development によって監修されていま す。1980年後半より、TCO はユーザーフレンドリーな IT 機器の開発に影響を及ぼすべく関与してきました。ディスプレイ分野における TCO ラベリングシステムは 1992年より始まりました。現在では世界中のユーザーや IT 企業に求められているシステムです。

さらに詳しい情報は www.tcodevelopment.com を参照してください。



このたびTCO'99 認証製品をお買い求めいただきました皆様はきわめて良識のある方々であり、私どもTCO'99 にとりましても誠に喜ばしいことです。皆様がお選びになった製品はプロフェッショナルユースのために開発さ れたものです。また、この製品をお買い求めいただいたことで、皆様は、環境への負担を軽減すること、そして 環境に適合した電子製品をさらに発展させることに貢献されたことになるのです。

なぜ私どもはコンピュータ及び周辺機器に環境ラベルを貼っているのでしょう?

今、多くの国では、環境ラベルを貼ることが品物およびサービスの、環境への適合を促進するための確立された 方法となっています。コンピュータとその他の電子機器に関して言えば、製品そのものと、さらにそれらを製造 する工程の中で環境に有害な物質が使用されていることが主な問題です。大部分の電子機器は満足のいく方法で された体のになり、たちまえ可能性た性、本物質の応じは思わたりなられて思えたので、マレキル

リサイクルすることができないため、環境にダメージを与える可能性を持った物質の殆どは遅かれ早かれ自然界に入り込んでいってしまい ます。 この他にオーテンパークにいてランド、2000年、シントに開催したります。この問題に、2000年後(内的)」自体開発(付的)」と

っつ他にも、コンピュータにはエネルギー消費レベルといった問題があります。この問題は、労働環境(内的)と自然環境(外的)という 二つの側面から重要になってきています。発電方式は全て環境に対し悪影響(例えば、酸性放出物、気候に影響を与える放出物、放射性廃 棄物など)をもたらすため、エネルギーを節約することはきわめて重要なことです。オフィスで使用されている電子機器はしばしば作動状 態のまま放置されるため、莫大な量のエネルギーを消費していることになります。

TCO'99 ラベルは何を意味しているのでしょう?

この製品は、パーソナルコンピュータの国際環境ラベルを提供する TCO'99 の要求事項を満たしています。このラベリング計画は、TCO(ス ウェーデン労働者組合)、Svenska Naturskyddsföeningen(スウェーデン環境保護団体)、Statens Energimyndighet (スウェーデンエネ ルギー局) による共同プロジェクトです。

TCO'99 承認の要求事項は、環境、エルゴノミクス、有用性、電磁界輻射、エネルギー消費、電気的安全性、火災に対する安全性など、 さまざまな領域にわたっています。

TCO'99 は、環境の項目では、重金属、臭素や塩素を含む難燃材、CFC(フロン)、塩素系溶剤などの含有および使用を制限することを課し ています。ラベルが貼られた製品はリサイクルへの備えができていなくてはなりませんし、ひいては、製造者は実践していく場、すなわち 所在国において環境保護にどのように対処するかの方針を持つことを余儀なくされるのです。

またエネルギーの項目では、コンピュータやディスプレイが一定時間使用されない場合、所定の時間が経過した後にそれらの消費電力を一 段階またはそれ以上の複数段階を経て低いレベルまで節減することを要求しています。但し、再び使用する際、そのコンピュータはユーザー にとって不便のない程度の時間内で復帰することとなっています。

このラベルのついた製品は、例えば電磁界の低減、エルゴノミクス(身体面および視覚面)、有用性など環境に関して、厳しい要求事項を 満たしていなければなりません。

この製品が満たしている環境要求事項の概略を右に示してあります。環境基準文書全文は下記宛てに要求することができます。

- TCO Development Unit
 - S-114 94 Stockholm, Sweden

Fax: +46 8 782 92 07, Email: (Internet): development@tco.se

TCO'99の認証ラベリング製品に関する最新情報は、インターネットで下記のアドレスにアクセスして入手することができます。 http://www.tcodevelopment.com/

環境保護要求

難燃剤

難燃剤はプリント基板やケーブル、ワイヤ、キャビネット、コネクタに含まれています。これらは発火を防ぎ、少なくとも燃焼を抑え るために使用されます。コンピュータケースに使用されているプラスチックの30%までが、難燃物質によってできている場合もあり ます。難燃剤の多くは臭素系あるいは塩素系であり、これらの難燃剤は他の環境有害物質群、PCBとも関わりがあります。臭素系、 塩素系難燃剤とPCBは、生体畜積*の作用により魚を食料とする鳥類や哺乳類の繁殖に与えるダメージを含む、健康状態への深刻な 影響を引き起こすと考えられています。難燃剤は人体内の血液にも発見されており、研究者達は胎児の成長障害の可能性を懸念してい ます。

TCO'99 は 25g 以上のプラスチック部品には有機結合した塩素や臭素を含む難燃剤が含まれていないよう要求しています。難燃剤の プリント板への使用は代用となる材料がないため是認されています。

カドミウム**

カドミウムは、再充電式電池やある種のコンピュータディスプレイの蛍光体に含まれています。カドミウムは神経組織にダメージを与 え、多量に摂取すると中毒症状を引き起こします。

TCO'99 は電池、ディスプレイの蛍光体、ディスプレイに使用されている電気・電子部品にはカドミウムが一切含まれないよう要求 しています。

水銀**

水銀は、電池、継電器、スイッチに含まれていることがあります。水銀は神経組織にダメージを与え、多量に摂取すると中毒症状を引 き起こします。

TCO'99 は電池には水銀が一切含まれないよう要求しています。また、ラベルを貼られた製品に使用されている電気・電子部品には、 水銀が一切含まれないよう要求しています。

CFC (フロン)

TCO'99 は CFC ならびに HCFC を製品の製造過程や、組み立ての際に使用しないよう要求しています。CFC(フロン)はプリント 基板を洗浄する際に使用されることがあります。CFC はオゾンを分解し、成層圏のオゾン層にダメージを与えます。その結果、地表 に届く紫外線が増加し、例えば、皮膚がん(悪性黒色腫)になる危険性などが高まります。

鉛**

鉛は、CRT、ディスプレイのスクリーン、半田やコンデンサに含まれています。鉛は神経組織にダメージを与え、多量に摂取すると 鉛中毒を引き起こします。

鉛の代替物質はまだ開発されていないため、TCO'99 は鉛の含有を認めています。

* 生体蓄積とは、生き物の体内に蓄積することを指します。 ** 鉛、カドミウム、水銀は生体に蓄積する重金属です。

アフターサービス

本製品のサポートに関してご不明な場合は、エイゾーサポートにお問い合わせください。エ イゾーサポート一覧は裏表紙に記載してあります。

保証書・保証期間について

- この商品には保証書を別途添付しております。保証書はお買い上げの販売店でお渡ししますので、所定事項の記入、販売店の捺印の有無、および記載内容をご確認ください。なお、保証書は再発行致しませんので、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げの日より5年間です。
- 当社では、この製品の補修用部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造終了
 後、最低7年間保有しています。補修用部品の最低保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、エイゾーサポートにご相談ください。

修理を依頼されるとき

- 保証期間中の場合 保証書の規定にしたがい、エイゾーサポートにて修理をさせていただきます。お買い求め の販売店、またはエイゾーサポートにご連絡ください。
- 保証期間を過ぎている場合 お買い求めの販売店、またはエイゾーサポートにご相談ください。修理範囲(サービス内 容)、修理費用の目安、修理期間、修理手続きなどを説明いたします。

修理を依頼される場合にお知らせいただきたい内容

- お名前・ご連絡先の住所・電話番号/FAX 番号
- お買い上げ年月日・販売店名
- モデル名・製造番号(製造番号は、本体の背面部のラベル上および保証書に表示されている8けたの番号です。例)S/N 12345678)
- 使用環境(コンピュータ/グラフィックスボード/OS・システムのバージョン/表示解像度等)
- 故障または異常の内容(できるだけ詳しく)

廃棄およびリサイクルについて

- 本製品の電子部品、プリント基板、金属部品等には重金属(鉛、クロム、水銀、アンチモン)、フッ素、ホウ素、シアン、ヒ素などが含まれています。ご使用後は、回収・リサイクルにお出しください。
- 本製品は、法人ユーザー様が使用後産業廃棄物として廃棄される場合、有償でお引取りいたします。詳細についてはエイゾークイックコールセンターまでお問い合わせください。
 [エイゾークイックコールセンター]
 - 電話での問合せ受付
 - (本社) TEL 076-274-2474
 - (東京) TEL 03-3458-7737
 - (大阪) TEL 06-6396-0357
 - 月曜日~金曜日(祝祭日及び弊社休日をのぞく)10:00~17:00
 - FAX での問合せ受付
 - FAX 076-274-2416 24 時間
 - 但し、センターからのご回答は同センター営業時間帯(電話受付時間帯と同じ)

製品に関する技術的なご質問、アフターサービスに関する お問い合わせは最寄りのエイゾーサポートまで お願いします。

エイゾーサポート仙台 〒984-0015 仙台市若林区卸町4-3-9 バイパス斎喜ビル TEL (022)782-9770 FAX (022)782-9771

エイゾーサポート東京 〒330-0834 さいたま市大宮区天沼町1-76-1 沢田ビル

TEL (048) 642-7717 FAX (048) 642-5233

エイゾーサポート厚木

〒243-0021 厚木市岡田3201番地 シカシン75ビル TEL(046)229-7003 FAX(046)229-7005

エイゾーサポート名古屋 〒460-0003 名古屋市中区錦1-6-5 名古屋錦第一生命ビル TEL (052) 232-0151 FAX (052) 232-7705

エイゾーサポート北陸 〒924-8566 石川県松任市下柏野町153番地 TEL (076) 274-6260 FAX (076) 274-2416

エイゾーサポート大阪 〒660-0862 尼崎市開明町2-11 神鋼建設ビル TEL (06) 6414-3770 FAX (06) 6414-3771

エイゾーサポート福岡

〒810-0004 福岡市中央区渡辺通3-6-11 福岡フコク生命ビル TEL (092) 762-2170 FAX (092) 715-7781

*営業時間/

月曜日~金曜日(祝祭日及び弊社休日をのぞく) 9:30~17:30

ご購入、販売店のご紹介、お取り扱い方法についての お問い合わせは最寄りの弊社営業所までお願いします。

営業1部

〒108-6105 東京都港区港南2-15-2 品川インターシティB棟5F TEL(03)5715-2011 FAX(03)3458-7001

名古屋営業所

〒460-0003 名古屋市中区錦1-6-5 名古屋錦第一生命ビル TEL (052) 232-7701 FAX (052) 232-7705

北陸営業所

〒924-8566 石川県松任市下柏野町153番地 TEL(076)277-6790 FAX(076)277-6791

大阪営業所

〒532-0003 大阪市淀川区宮原3-5-24 新大阪第一生命ビルディング TEL(06)4807-7707 FAX(06)4807-7725

福岡営業所

〒810-0004 福岡市中央区渡辺通3-6-11 福岡フコク生命ビル TEL(092)715-7706 FAX(092)715-7781

*営業時間/

月曜日~金曜日(祝祭日及び弊社休日をのぞく) 9:00~18:00



株式会社ナナオ 〒924-8566 石川県松任市下柏野町153番地

http://www.eizo.co.jp/

